シャイニングアロー・ミニストリー

ニュースレター Vol.15　2012 年 11 月

〒420-0875　静岡市葵区美川町４－２３　静岡サミル聖書教会内
電話:054(254)0262　Fax:054(254)0269　Email:arrow04stbc@ybb.ne.jp

「領土問題の怨念を超えさせるキリストの愛」

シャイニングアロー・ミニストリー代表
静岡サミル聖書教会牧師
李　英洙(リー・ヨンス)

今年は日中韓にとって、とても残念な年になりました。こんなに領土問題がこじれて関係が悪化するとは思ってもみませんでした。私は少しでも早く関係が修復されることを心から願っていますが、このことを通して日本の侵略戦争の後遺症がまだまだ癒されていないということを改めて感じました。残念ながら、中国や韓国ではいまだに歴史教育の中で、侵略された悲惨さと怨念を忘れないようにする教育が行われ、戦争の悲劇を乗り越えるための和解の教育はなされていません。また日本では近現代史が正しく教えられていないための無知が蔓延し、相互理解の土台さえできていないのが現状です。

この様な状況を改善していくためにはどうしたらいいでしょうか。例えば民間レベルの草の根の友好親善活動が有効だと思います。また感情論に捕われた愛国主義的歴史教育をお互いの政府が止めて、客観的事実にもとずいた共通の歴史認識を再構築し、歴史教育をし直すことが必要です。

６月：播州地区教会の合同信徒修養会

しかし、そのような試みだけでは、この問題を根本的に解決することは難しいでしょう。

なぜなら、人間の憎しみと怨念はうわべだけの交流や教育だけでは容易に取り除けないからです。やはりイエス様による赦しと癒しの福音の力がなければ、人を内なる憎しみと怨念から解放し和解を実現することはできないでしょう。

私は 30 歳のときに留学先の西ドイツで信仰に導かれましたが、イエスキリストの福音を受け入れ、自分の罪が赦された喜びを得ることが出来ました。その後、主の取り扱いを更に受け、在日韓国人として差別され、苦しめられ、傷つけられてきた心が深く癒され、日本という国を赦すことが出来るようになり、自分の中にある日本への憎しみと怨念から解放されてきました。そして、和解の福音の伝道者として、今まで日本宣教の働きに従事することができました。

ですから、そのような体験を持っている私として思うことは、今回の日中韓の問題を解決し、真の和解を作り上げていくことができるのは、赦しと癒しの恵みを受けたクリスチャンだけだと言うことです。天に国籍を持った私達こそが、キリストの愛によって地上の国境や愛国主義的エゴイズムや怨念を越えることが出来るのです。幸いにも韓国にも中国にも多くのクリスチャンがいますから、彼らの信仰が真の和解と友好親善に用いられるのではないかと期待しています。そこに日本のクリスチャンも加わって真の和解と平和が実現することを祈っています。

「心の病の癒し：否定的感情と否定的思考回路の罠からの脱出」

教会には多くの精神的病いを持った人が救いを求めてやってきます。そのような人を助けるために牧会者が時間をかけて世話をしているということが多いと思いますが、そのような人を信仰告白に導いても、その後の信仰の成長が順調に行かず、病も一向に良くならないというケースが多々あります。そこで今回はそのような現状を打破するための聖書的方法について考えてみたいと思います。

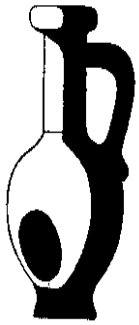
１、病気の真の原因は幼少期に植え付けられた否定的な感情と思考回路(古い皮袋)にある。

幼少期(誕生～6 歳位まで)に色々な問題のある家庭で育った人が、成長して精神疾患に罹る率が非常に高いことが分かっています。それは人格の土台を形成する時期に、両親の愛情を充分に受けることができず、基本的信頼感や、自己存在の肯定感、能力に対する自信等を持てなかったことによる、人格の不安定さが主な原因です。そしてそのような不安定な人格の内面(潜在意識)は、常に異常な不安や恐れの感情に支配され、すべてのことを否定的に捕らえてしまうという思考回路がしっかり形成されています。この否定的感情と思考回路に支配されている人が、その心が生み出す過剰なストレスに神経が耐え切れずに発病し、その病状を悪化させ、好転させることができずに苦しんでいるのです。

２、悪い実を実らせる悪い木：否定的な感情と思考回路の実態の把握

イエス様は「悪い木は悪い実を結ばせます(マタイ７：17)」と言われましたが、否定的感情の根を持ち、否定的思考回路の幹を持っている人は、悪い実を結ばせる悪い木になってしまっているということができます。機能不全の家庭で育った子は、不安定な家庭環境の中で、一様に不安や恐れなどの否定的感情に支配された子になります。生存が脅かされる環境では、子供達は常に最悪のことを想定して緊張して生きるようになり、すべての事を否定的に感じ、とらえる思考回路(古い皮袋)ができあがります。このような人格から出てくる思いは常に否定的なものとなり、様々な恐怖症、被害妄想症、幻聴幻覚、不安症、ヒステリック症状などの悪い実を実らせる種を常に提供します。まるで人格を破綻させる死の泉を内側に持ったような心になってしまうのです。従って、このような人々をどんなにケアーし、世話をしても、潜在意識下の否定的な感情と思考回路をつぶし、死の泉を枯らしてしまわなければ、そのケアは徒労に終わってしまうことが多いのです。重要なことは、その人がどの程度の否定的感情と思考回路に支配されているかを、その態度や言葉使いから観察し、強さの加減を見極めることが重要です。

３、悪い木の伐採：否定的な感情と思考回路(古い皮袋)を捨てさせる



幼少期にどのようにして否定的思考回路が作られたかを探り、その思考回路の基になってしまった傷を探ることが必要です。育った家庭環境の中で受けた傷つき体験や愛情不足体験を調べ、異常な不安や恐れを持つことになった深い傷を、イエス様の慰めと共感の愛をいただくことによって癒し、否定的感情を祈りの中で告白し、捨てていかなければなりません。また潜在意識レベルで、否定的感情と否定的思考回路にどの程度支配されているかを、本人に認識させることが重要です。多くの場合、自分がそれほど否定的感情と思考に囚われているということに気がついていません。ですから、其のことに気づきを与え、出来上がってしまった否定的思考回路(古い皮袋)を、告白によって捨てるように導き、習慣化してしまった否定的思考のパターンをやめるように導きます。

４、良い木への接木：肯定的な感情と思考回路(新しい皮袋)への転換

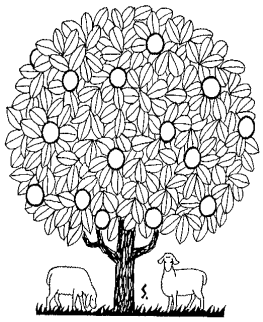
次に、肉の親から受けられなかった親の愛を、天の親である神様から受け取る特権を与えられていることを悟らせ、聖霊の内住によって開かれた命の泉から愛と喜びと平安の実(聖霊による肯定的感情の実)を満たしてもらうことを求めるように導きます。そして福音によって示された神の愛への信仰の土台を基にして作ることが出来る肯定的思考回路を、潜在意識の中に祈りによって埋め込む作業をすることが必要です。全てを益としてくださる神の恵みを信じる心が潜在意識の中に形成され、神の守りと導きによって永遠に生きられるから安心という肯定的感情と思考回路ができ、その思考パターンを習慣化することができるようになる時、心の病いの問題を根本的に解決することが可能になります。

５、認知行動療法との共通点と相違点

今、精神医学会では精神病の治療のひとつとして、認知行動療法が取り入れられ、ある程度の効果をあげていますが、そこで行われていることは、物事の認識自体が歪んでいる(認知の歪み)ので、その歪みを認識させて、正しい視点から物事を捉え直していくことを訓練し、習慣化していくという方法です。この療法は異常な否定的思考回路の問題点と間違いを認識させ、その歪みを正そうとする試みの一つですから、そこに共通点がありますが、肯定的思考回路を作るという点に関しては、肯定的思考回路を作るための材料や土台が不十分だと言わざるを得ません。その点で、イエスキリストの福音が提供する御言葉の材料と十字架の愛の土台は、肯定的思考回路を作るための愛の泉として、非常に大きな力を発揮するものだということができます。Ｉヨハネ 4:18 に「全き愛は恐れを閉め出す」とありますが、神の完全な愛による土台こそが、肯定的思考回路の構築のために不可欠なのです。

６、私の癒しと変革の恵み

私も機能不全の家族の中で、虐待的躾を受け、否定的感情と思考回路に支配された人格となりました。そのため何かあると常に悪いことを妄想し、緊張して身構える人格となり、悪い実を結ばせる悪い木になりました。しかし、インナーチャイルドの癒しと変革のカウンセリングミニストリーを受けて、自分の中にある様々な傷を癒し、それが元でできてしまった恐れや不安の否定的な感情の根を抜いて、傷つけた相手を赦す祈りによって、怒りと憎しみの苦々しい感情を捨てました。そしていつの間にかできてしまった否定的思考回路を徹底的に打ち壊して捨て、御言葉を通して示された神の父性愛と母性愛を信じ、主が常に共にいて、守り助け、導いて下さるから大丈夫だという肯定的感情と肯定的思考回路を潜在意識に埋め込む作業をしてきました。その結果、私は病的な否定的思考や悪感情から随分解放されて、自由にされてきました。昔の私は家内から良く「あなたはどうして、いつも物事を悪く取るの。」と言われていました。そしてそれに対して私はいつも反論して「お前はどうしていつもお人よしなのか。人なんか信用できないよ。」と言っていました。まさに昔は否定的思考回路の奴隷でしたが、しかし今は、家内をたしなめて「もっと主を信じて任せていこうよ」とたしなめることができるようになりました。



心の病いを抱えている多くの人を、また病いにはなっていなくても、物事を否定的に捉える、鬱的傾向の強い人々を救い出すための聖書的方法論を紹介しました。どうぞ悪い木を根っこから切り倒し、良い実を結ばせる良い木に変えていく、潜在意識の変革に取り組んでみて下さい。

李　英洙・プロフィール

1949 年、韓国で生まれ、３才から静岡市で成長する。早くから歌の才能に目覚め、高校時代に本格的にオペラ歌手の道を志す。1974 年、武蔵野音楽大学声楽科を第 2 位で卒業。77 年に西ドイツのロバートシューマン音楽大学に留学し、80 年には西ドイツ演奏家国家試験に最優秀で合格、ディプロマを獲得する。在学中から北西ドイツ各地でオラトリオ歌手として活躍し、好評を得る。その間に教会に導かれ、真理に目が開かれクリスチャンとなり、81 年、神の召しによってオペラ歌手への道から聖職者の道に転進する。西ドイツのヴィーダネスト聖書学院、東京の聖書神学舎を卒業後､85 年大韓イエス教長老会(高麗派) 宣教師として、静岡市にて開拓伝道を開始し、静岡サミル聖書教会を設立。現在まで同教会牧師として働いている。牧会のかたわら、巡回賛美伝道者としても献身、全国各地の教会の伝道会・聖会に招かれ奉仕している。2005 年からは新たに、インナーヒーリング・ミニストリーの普及に取り組み、カウンセラーとして日本の教会の霊的刷新のためにも仕えている。2006 年から開拓伝道 20 周年を期にシャイニングアロー・ミニストリーを立ち上げ、毎年日本縦断伝道ツアーを行い、全国各地の教会を精力的に巡回している。与えられた賛美の賜物とメッセージの二刀流を駆使して語る赦しの福音、慰めと癒しの福音は多くの人の心を捕らえ、救いと癒しの恵みに導いている。著作として「闇をつらぬく光の矢へ（傷ついたインナーチャイルドの癒しと変革)」「在日ちいろば二世物語」賛美 CD「ああ主よ我を」「光の主はともに」がある。

＜奉仕分野＞

伝道集会での賛美、証し、伝道説教
信徒の建て上げ説教、聖別献身説教
地域の教派内や超教派での聖会奉仕
慰めといやしの聖会奉仕
チャペルコンサート奉仕
インナーヒーリングセミナー
個人カウンセリング・コーチング

・奉仕内容は各教会のニーズに合わせて柔軟に対応いたしますので、ご相談ください。
・奉仕料につきましては、教会としてできる範囲でお考え下されば結構です。
・各教会の歴史や方針をあくまで尊重して、教会形成に役立つ奉仕を心がけます。

～李英洙の書籍類　好評販売中～

★「在日ちいろば二世物語」（１０００円）
５７年間の波乱に富んだ半生を赤裸々につづった自伝です。大変好評です。神の生きた御業の数々に感動し、信仰生活の励みになる内容です。伝道用にも牧師や信徒の霊的養いにも有益です。

★「闇をつらぬく光の矢へ」（１０００円）
５年間に渡る聖書的インナーヒーリング体験から生まれた実用的なインナーヒーリングミニストリーの手引き書です。特にセルリーダーや牧会者にとって有益な内容ですのでお用い下さい。

★賛美ＣＤ「ああ主よ我を」（２０００円）
甘いテノールの美声が歌う､クラシックからゴスペルまでの珠玉の全１２曲が収録されています。

賛美ＣＤ「光の主はともに」（２０００円）
慰めと励ましをテーマにした全１２曲を収録

＜2013 年度の宣教旅行予定表＞

２月　９日(土)～１７日(日)	**九州地区**
３月　９日(土)～１７日(日)	**南関東地区**
４月１３日(土)～２１日(日)	**中国地区**
５月１１日(土)～１９日(日)	**北関東地区**
６月１５日(土)～２３日(日)	**東北地区**
７月１３日(土)～２１日(日)	**北海道地区**
９月１４日(土)～２３日(月)	**近畿地区**
１０月１２日(土)～２０日(日)	**東京地区**
１１月　９日(土)～１７日(日)	**北陸地区**
１２月　７日(土)～１５日(日)	**東海地区**

★ サポーター会員の募集 :李師の日本人宣教への熱い思いに共感し､この働きを祈りながら自由献金によってサポートして下さる教会や個人の方々を募集しています。会員の皆様には定期的にニュースレターや書籍・集会・演奏会等のご案内をお送りいたします。また様々な悩み事のアドバイスとカウンセリングをいたします。

郵便振替口座：００８８０－２－８００２０
「静岡サミル聖書教会」
銀行口座：静岡銀行　しずはた支店
普通　０４２７８１０

＊2013 年度も左記の予定に従って、各地域を巡回いたしますが、他の日程での奉仕をご希望の場合には、遠慮なくご相談下さい。